

タンザニアでクリーンエネルギーの安定供給に貢献

(LP ガス供給設備の要となる気化器導入でクリーンな LP ガス普及促進へ)

国際協力機構（JICA）は2月3日、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業 基礎調査（中小企業支援型）」においてカグラペーパーテック株式会社（兵庫県尼崎市、玉井健一代表取締役）が提案する「LP ガスペーパーライザー（気化器）の需要と販売展開に係る基礎調査（タンザニア国）」を採択しました。

タンザニア国では家庭用燃料の消費増大と、薪炭採取に伴う森林の環境破壊が大きな課題となっています。タンザニア政府は、森林破壊の抑制は喫緊の課題であるとの認識の下、これまで利用していた薪や炭に代わる近代的な燃料への転換促進のため、LP ガス普及に力を入れています。

LP ガスの安定供給になくならない気化器を導入することにより、安全かつクリーンなエネルギーの供給インフラの普及拡大を実現し、近代的な燃料への転換だけでなく、生活の質の向上が期待されます。



薪の使用の増加は、森林伐採・環境汚染・健康被害を引き起こす



LP ガス蒸発器設備は、クリーンエネルギー(LP ガス)の普及に貢献する

同社は、気化器を含む LP ガス機器に関するタンザニアの基準・規制・手続き、LP ガス市場、ビジネスパートナーなどの調査を行い、ビジネス展開を目指します。

本事業は、「基礎調査（中小企業支援型）」として実施されます。「基礎調査」は、優れた製品や技術力を有する中小企業が途上国に進出することによる開発課題解決の可能性及び ODA 事業との連携可能性を検討するためのもので、検討に必要な基礎情報の収集と海外展開事業計画の策定を目的としています。2019 年度第二回は本年 10 月に公示を行い、全国で 13 件が採択されました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：（プレスリリース）基礎調査（中小企業支援型）2019 年度第二回公示の採択結果について

URL：https://www.jica.go.jp/press/2019/20200205_10.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 企業連携課 三宅

TEL 078-261-0397 e-mail：Miyake.Yukako2@jica.go.jp